

鶴見区馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区における オンデマンド実証実験について

- 横浜市 都市整備局 都市交通課

目 次

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

- ・対象地区の概要
- ・実証実験運行の背景・目的
- ・実証実験の運行概要
- ・関係者説明の経緯
- ・事業スケジュール

対象地区の概要（地区の状況）

地区の人口 約30,000人（65歳以上 約6,600人）

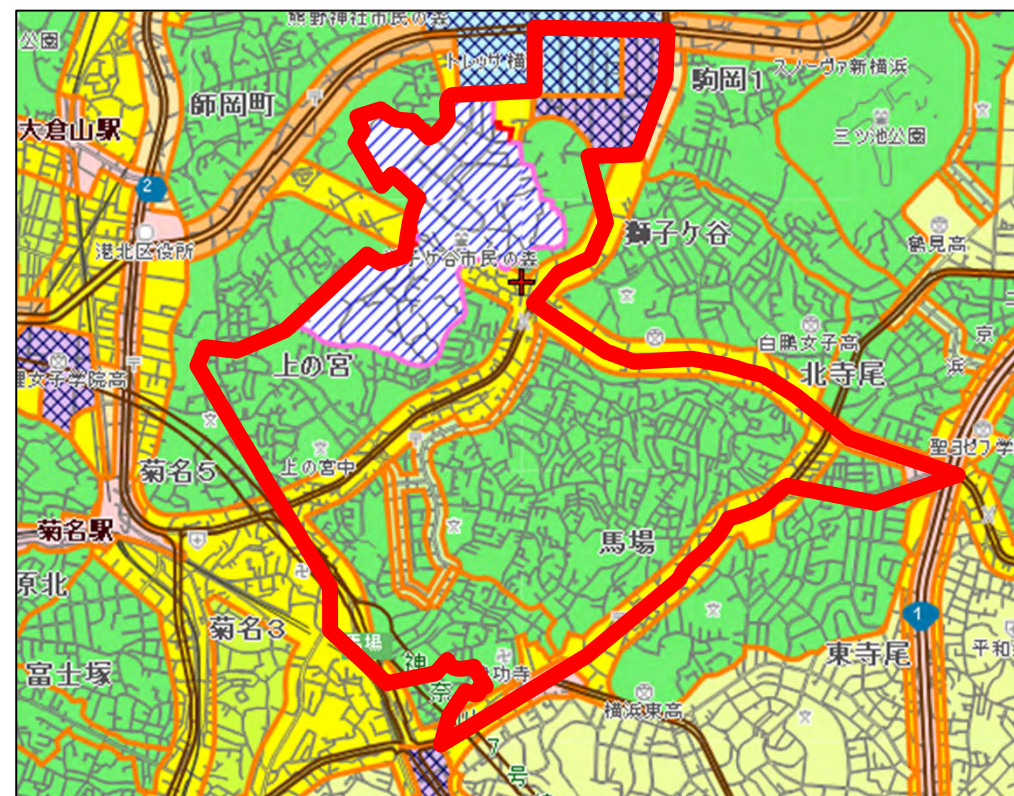
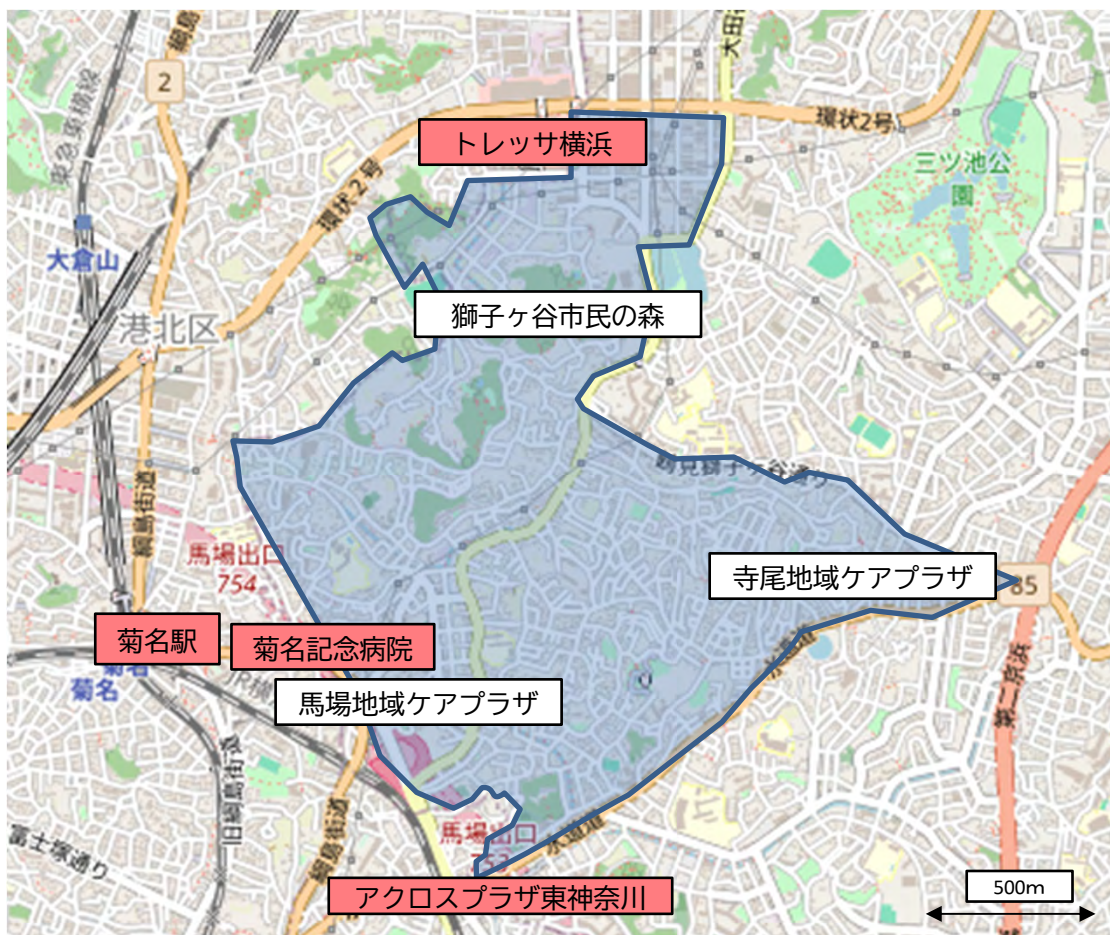
世帯数 約13,000世帯

高齡化率 22%

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA



出典：横浜市都市計画図

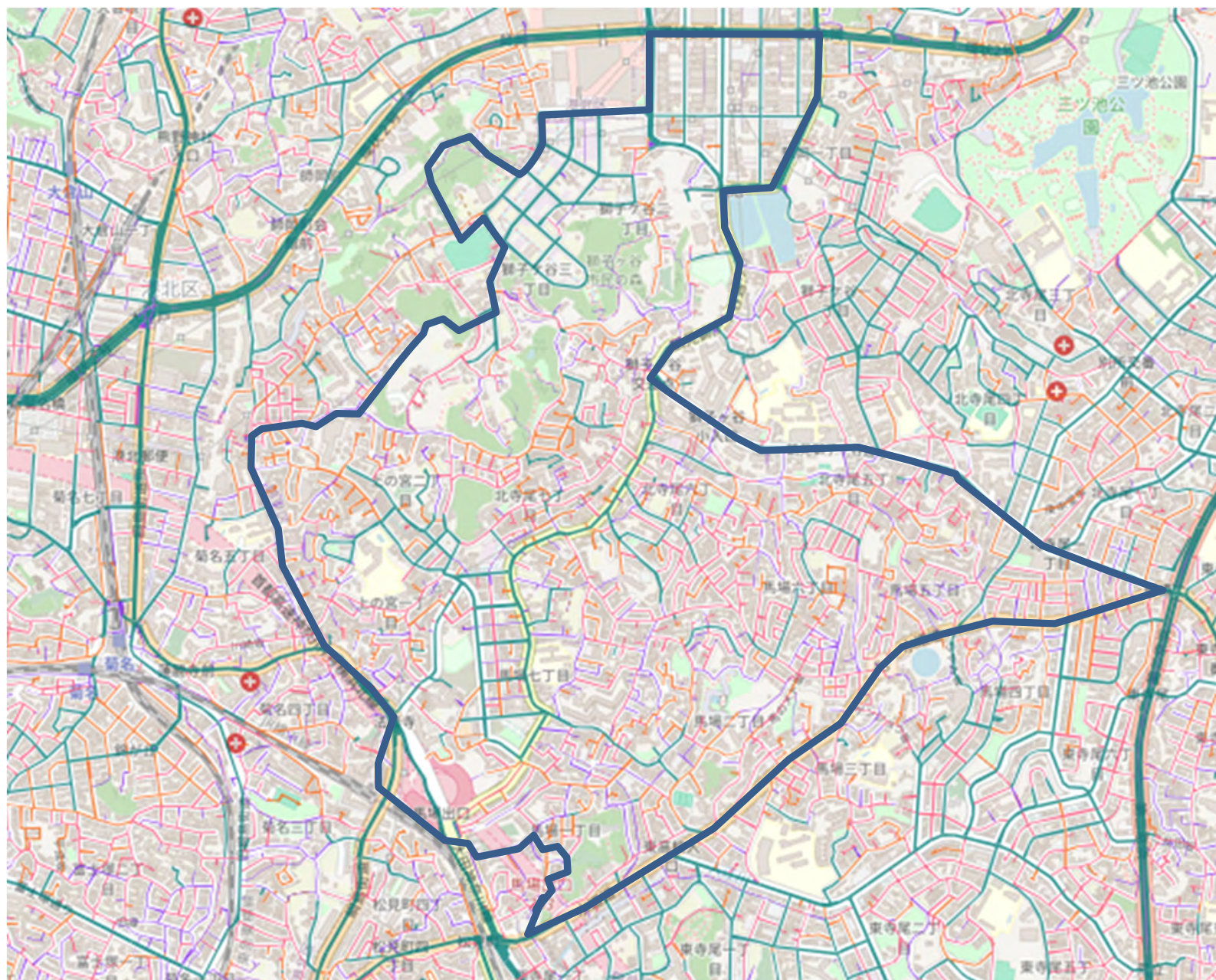
-  第1種低層住居専用地域
 第1種住居地域
 準工業地域(第5種高度地区)
 工業地域(第5種高度地区)
 市街化調整区域

対象地区の概要（道路幅員）

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA



幅員

- 3.5未満
- 3.5以上4.5未満
- 4.5以上5.5未満
- 5.5以上

対象地区の概要（地区周辺の主要バス路線）

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

- ・ 既設バス路線の鶴12系統は、馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区から鶴見駅に接続



出典：鶴見区バスマップ

＜鶴12系統＞
臨港バス
平日46本／日
土休日35～37本／日

鶴見駅西口
↓
獅子ヶ谷
↓
馬場七丁目
↓
上の宮一丁目
↓
鶴見駅西口

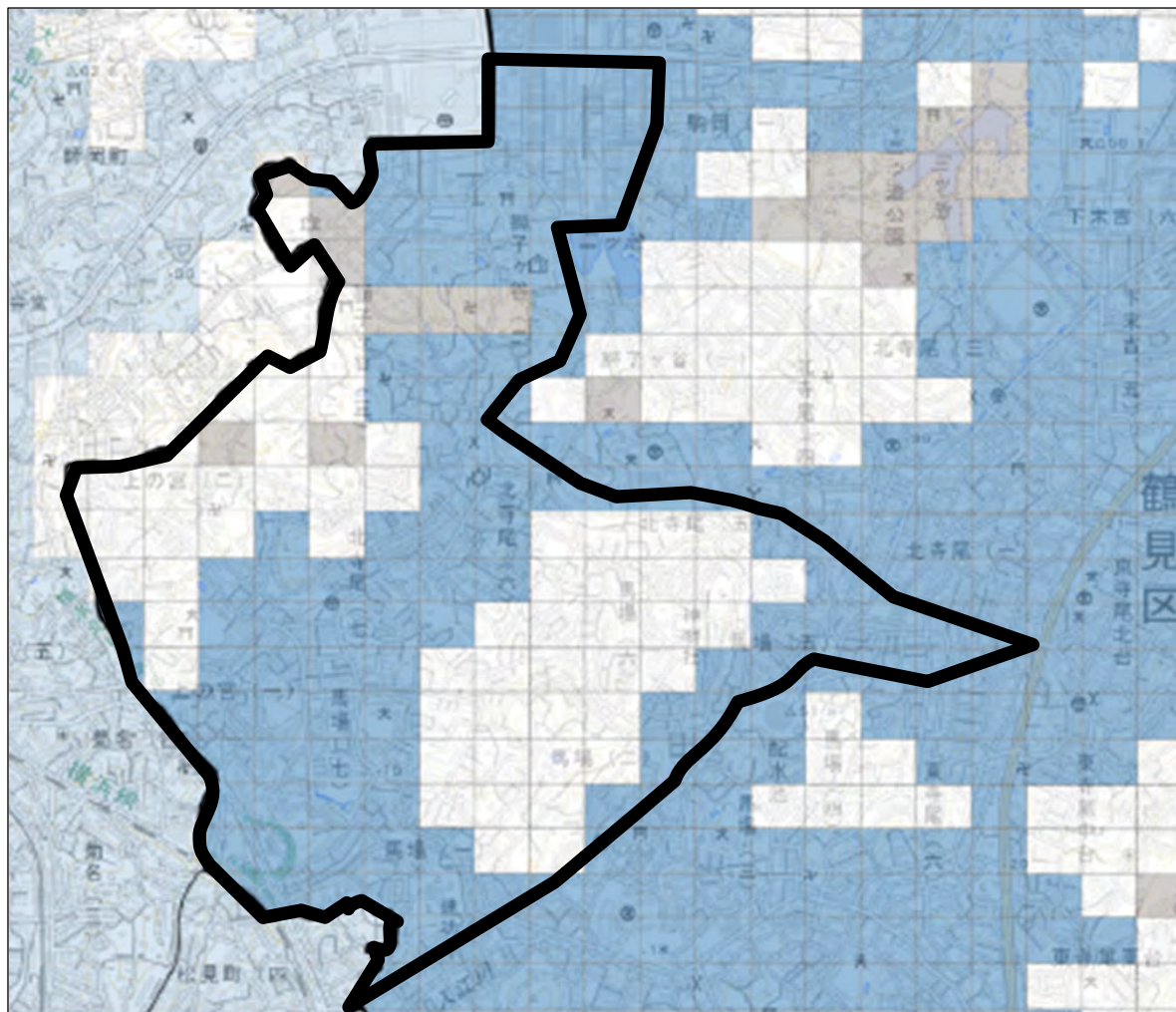
対象地区の概要（公共交通圏域）

- ・公共交通圏域（鉄道駅の徒歩圏域：800m、バス停の徒歩圏域：300m）
- ・対象地区の面積 約2.5km² ・交通空白地域 約1.0km²

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA



125mメッシュ

切り抜き結果

公共交通圏域内

公共交通圏域外

非住宅系土地利用

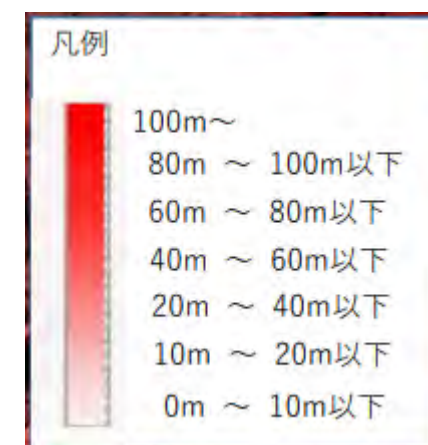
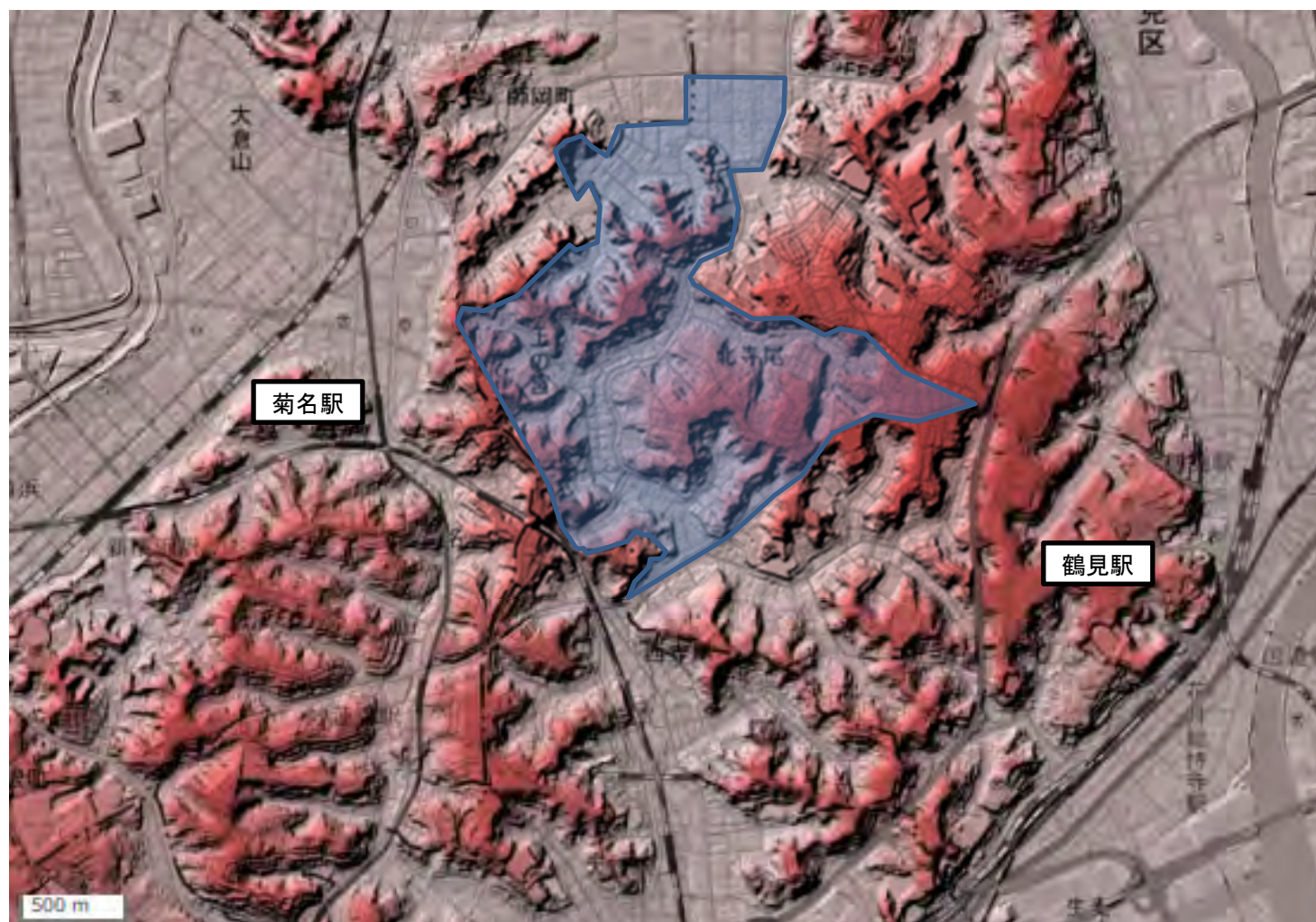
対象地区の概要（地区の標高）

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

- ・ 鶴見駅や菊名駅からの高低差は約30～40m、坂が多く高齢者は徒歩による移動が困難



実証実験運行の背景・目的(地域の課題)

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

- エリア内は起伏が多くあり、鉄道駅から距離があるため、路線バスへの依存度が高い。
急な坂もあり、高齢者は徒歩による移動が困難。
- 広い交通空白地域があるが、狭隘な道路が多いため路線バスでの運行は制限がある。
- 鶴見駅より菊名駅の方が近く、菊名駅へアクセスする新路線を要望する声が地域から川崎鶴見臨港バス株式会社に寄せられているが、上記の道路事情及び路線バスの運転士不足といった多くの課題がある。
- トレッサ横浜、アクロスプラザ東神奈川といった大型商業施設が存在するが、現状エリア内から直接アクセスできる交通手段が存在しない。



【出典 鶴見区バスマップ】

実証実験運行の背景・目的(オンデマンドバスの導入)

路線バスのようにバス停とバス停を結ぶ乗合型の交通である一方、タクシーのように予約に応じた運行かつ、着席可能といった双方の特徴をあわせもった交通サービス

■メリット

- 路線バスとは異なるワゴン車で運行するため、従来走行できなかった狭隘道路でも運行が可能。
- AIが最適な経路を算出することで、必要な時間に広範囲のエリアにおける需要に対応することが可能。
- オンデマンドバスは多数の乗降場を設置できるため、乗車までの移動が容易。

■デメリット

- 一部の高齢者等はアプリやLINEの使い方が分からず、予約に苦慮する恐れがある。
- リクエストしても希望した時間に乗れない恐れがある。



現行の路線バス運行では解決が困難な交通課題(広い交通空白地域、坂が多く高齢者の徒歩移動が困難)を解決するため、路線バスとは異なる新たなモビリティ“オンデマンドバス”が適していると考える。

実証実験運行概要

項 目	内 容
運行事業者	川崎鶴見臨港バス株式会社 横浜市の共創フロントを活用した公民連携を提案
運行期間	2025年8月～2026年3月 約8か月間（日曜日と年末年始を除く）
運行時間	8時00分～19時00分
事業許可	道路運送法 4 条 区域乗合認可
運行エリア	横浜市鶴見区馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区および菊名駅等
乗降場所	30か所程度
運賃	大人：500円 小児：250円 ※運賃分科会で別途協議
予約方法	専用のスマートフォンアプリ、LINEから予約
使用車両	10人乗りワゴン車2台（乗車定員 8名/台）
想定運行費用	約2,400万円（約8か月間）
その他費用	約1,000万円（システム、車両等）
目標収支率（1年目）	25%以上
本市新制度補助額（1年目）	運行費用に対する赤字額全額補助 ※その他費用は別途補助

実証実験運行概要(運行エリア)

OPEN X PIONEER

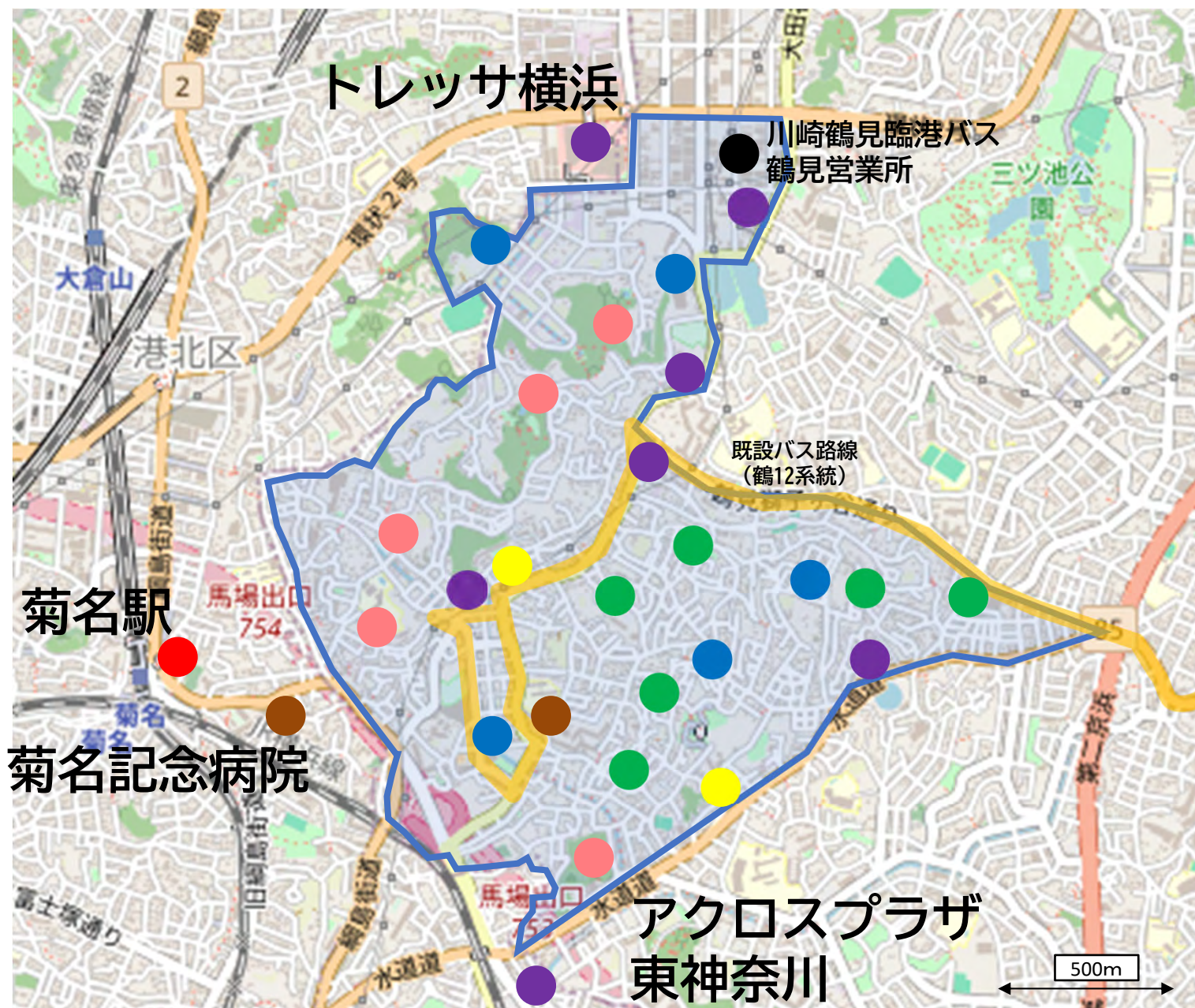
YOKOHAMA

- ・エリア内乗降場：25か所
- ・エリア外乗降場：4か所

凡例

	菊名駅
	川崎鶴見臨港バス 鶴見営業所
	商業施設
	公園
	寺/神社
	行政/地域施設
	病院/クリニック
	郵便局

【運行車両のイメージ】



※乗降場は現在調整中であり、今後変更の可能性があります。

関係者説明の経緯

■地元住民への説明会

- ・ 寺尾第二地区連合会（11/21）
- ・ 寺尾地区連合会（11/22）
- ・ 駒岡地区連合会（11/25）

■交通管理者等

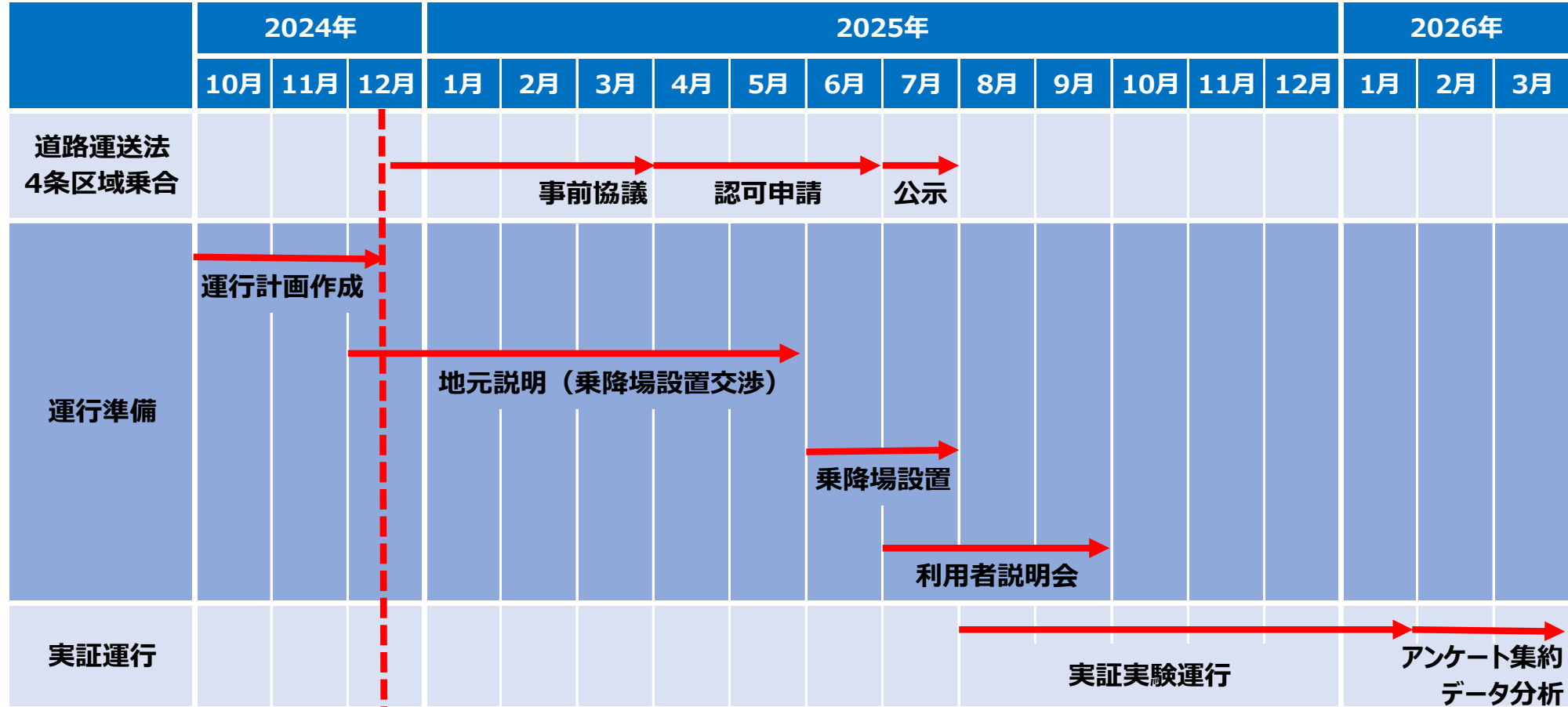
- ・ 鶴見警察署（10/15）
- ・ 鶴見土木事務所（10/15）

■業界団体

- ・ 神奈川県タクシー協会横浜支部（9/12）
- ・ 神奈川県バス協会（11/13）

事業スケジュール

2025年8月～2026年1月 本計画案にて運行し、実績を踏まえ運行継続可否判断
⇒運行継続の場合、2026年4月 運行エリア・乗降スポット・運賃等を見直す



地域公共交通会議

主な効果検証内容(予定)	把握方法
地域に適した運行内容となっているか(運行計画の改善に向けた検証)	利用実績データ及びアンケート調査
地域住民の外出頻度、マイカー利用頻度、移動手段の変化等	アンケート調査

※アンケート調査は、利用者だけでなく未利用者も対象